

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(1)市事業への「協働」の導入推進	文書配布業務の効率化	市民協働推進課	自治会長負担軽減のため、文書量の削減に取り組んでいる。R5年度から安全性向上及び効率化のため配送業務を外部委託とし、令和7年度も継続した。	⑤	A	安全で円滑な文書配布が実施できた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 充実
	男女共同参画フォーラム	市民協働推進課	男女共同参画の推進を目的としてフォーラムを実施した。	②	A	実行委員会で意見を出し合い、企画、運営ができた。 参加者アンケートでは高評価の回答が多く、フォーラムの実施により男女共同参画の意識を向上させることができた。	フォーラムの実施 実施	フォーラムの実施 充実	フォーラムの実施 充実
	中・高校生に対するDV防止のための啓発	市民協働推進課	中・高校生へパンフレット配布、高校生への出前講座により啓発を行った。	②	A	実施方法を変更し、出前講座に参加した生徒・先生から高評価を得ることができた。	セミナーの実施 実施	セミナーの実施 充実	セミナーの実施 充実
	市希少野生動植物の保護に関する条例の運用	ネイチャーボジティブ課	・那須塩原市動植物調査研究会による動植物実態調査の実施 ・監視員による生息地保全協定区のモニタリングの実施	①②⑤⑦	C	動植物調査研究会の調査により、R6年中に希少野生植物の生息が確認されたもののうち、R6年度中に協定締結ができなかった箇所について新たに生息地保全協定を締結することができた。	生息地等保全協定区域 18区	生息地等保全協定区域 25区	生息地等保全協定区域 20区
	民生委員・児童委員活動支援	社会福祉課	那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会への補助金の交付及び事務局の運営	②	B	補助金の交付及び事務局の運営を滞りなく行うことができた。全体研修や新年研修を開催し、委員の資質向上を図ることができた。	連合会運営費補助金の交付 交付	連合会運営費補助金の交付 充実	連合会運営費補助金の交付 充実
	生活困窮者自立支援事業	生活福祉課	自立相談支援事業業務委託 (生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、各種施策・福祉サービス等の利用のあっせん等様々な支援を一体的かつ計画的に行い、生活困窮者の自立の促進を図る。)	③	B	就労支援の他、家計改善や住居確保など、生活困窮者の状況に合わせた相談や支援を行うことができた。	自立相談支援 実施	自立相談支援 実施	自立相談支援 実施

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(1)市事業への「協働」の導入推進	ファミリーサポートセンターの運営	子育て支援課	子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行える人を会員として組織し、会員同士が行う子育ての援助活動を支援することにより、安心して子育てができる環境を整備する。	②	B	・業務委託先と連携し、滞りなく事業を実施することができた。 ・なしお博での会員募集ブースの設置し、登録までには至らなかったが、ファミサポを知らない人やサポート会員に興味がある人に制度や養成講座の案内ができた。	サポート率 100%	サポート率 100%	サポート率 99.63%
	議場コンサート	議事課	【第21回議場コンサート】 開催日：令和7年9月9日 出演者：starryes 傍聴者：コンサート21名 9月定例会議58名 【第22回議場コンサート】 開催日：令和8年2月25日 出演者：マナイアカラニ 傍聴者：コンサート6名 3月定例会議総数 21名	①	C	地域の活動団体に出演を依頼することで、打ち合わせ等を通じて、出演者やその家族、関係者等が議会を知るきっかけとなっている。また、議会傍聴者に地域団体の活動を知ってもらう機会にもなっている。一方で、出演団体の掘り起こしや、コンサートからその後の本会議の傍聴につなげていくことが課題となっている。	傍聴者数 0人	傍聴者数 92人	傍聴者数 (令和7年度平均) 57人
	20歳の集い(旧「成人式」)	生涯学習課	実行委員による「20歳の集い」の開催 開催日：令和8年1月11日(日) 場所：大正堂くろいそみるひいホール 参加者：865人 内容：式典及び実行委員による企画(市内中学校の校歌斉唱)	①	B	市民としての一体感及び郷土愛の醸成を図るため、令和6年度から1会場に集約して開催している。 20歳の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と責任を認識し、社会への参画意識を高める機会となった。	参加率 71%	参加率 77%	参加率 75%
	少年指導員の巡回指導事業	生涯学習課	巡回指導活動等の実施 通常巡回指導回数：278回 延人数：920人 特別巡回指導回数：12回 延人数：61人	①⑤⑦	A	市内を巡回することにより、子どもの見守りを実施。子どもが特に集まる特別巡回を重点的に実施したことで、声掛け件数を大きく伸ばすことができた。	少年指導員による「愛の声かけ」人数 526人	少年指導員による「愛の声かけ」人数 1,500人	少年指導員による「愛の声かけ」人数 3,662人
	マイ・チャレンジ事業	生涯学習課	生徒受け入れ事業所の開拓と、受け入れ可能事業所のリストの作成	①③④	B	効果 新規の事業所数は減少したが、登録事業所のうち、受け入れ事業所の数は増えており、学校と地域事業所との協働は進んでいる。※毎年、登録事業所に対し通知を出し、受け入れの可否を調査している。	延べ新規受入事業所数 未実施	延べ新規受入事業所数 20事業所	延べ新規受入事業所数 14事業所

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	国際交流協会への支援	市民協働推進課	国際交流協会事業費の補助	②	B	「日本語教室」や「ボランティア養成講座」の実施により外国人住民の地域生活基盤を強化したほか、「ワールドフェスティバル」の開催や姉妹都市オーストリア・リンツ市からのホームステイ訪問団との交流事業を展開し、市民の国際理解と多文化共生の推進に大きく貢献した。	事業数 11事業	事業数 15事業	事業数 10事業
	国際交流員を活用した国際交流の推進	市民協働推進課	市が主催する各種事業での通訳・翻訳業務や、地域の学校・団体等への派遣による国際理解教室の実施。	②⑦	B	オーストリア側との連絡調整や市主催事業での通訳・翻訳業務を的確に遂行した。また、SNSによる情報発信、地域の学校や市民団体のイベントへ積極的に参画・派遣し、多文化理解と市民の国際交流への関心を深めた。	派遣数 13件	派遣数 15件	派遣数 13件
	自治会、地区自治会長会及び自治会長連絡協議会への支援	市民協働推進課 西那須野支所 塩原支所	那須塩原市自治会長連絡協議会の役員会、総会、自治会長研修会、市との懇談会開催や県自連事業への参加、自治会加入促進等活動への支援を行った。地域ポータルアプリのインストール及び会員登録サポートを開催した。補助金申請における自治会長の負担軽減に取り組んだ。西那須野自治会長連絡協議会総会、先進地視察研修会などの支援を行った。	⑤	A	支援により、自治会、那須塩原市自治会長連絡協議会、西那須野自治会長連絡協議会の負担を軽減し、自治会活動の活性化を図ることができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 充実
	市民提案型協働のまちづくり支援事業	市民協働推進課	市民活動団体が企画実践する公益性の高いまちづくり活動を支援するため、活動費の一部を補助する制度。若者から高齢者まで幅広い世代が活用した。	②③⑤⑦	A	新たに補助事業を知った団体からの応募があり、活用してもらうことができた。	各年度の採択団体数 3団体	各年度の採択団体数 8団体	各年度の採択団体数 8団体
	人権擁護委員協議会への支援	市民協働推進課	負担金を支出している、人権擁護委員協議会の多数の事業(街頭啓発、人権の花事業など)に対して支援することが出来た。	⑦	A	人権の花事業では、多くの児童へ命の大切さ、相手への思いやりを感じていただくことが出来た。	補助金の交付 実施	補助金の交付 充実	補助金の交付 充実
	市民一斉美化運動	サーキュラーエコノミー課	市民による不法投棄物等の一斉清掃を実施 (春)令和7年5月25日 (秋)令和7年11月9日 参加者合計:29,241人	①⑤	C	多くの方々に参加をいただき実施することができた。地域の良好な環境維持に寄与することができた。	参加率 30%	参加率 35%	参加率 26%

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(ハ)市民が活躍するまちづくり	不法投棄通報	サーキュラーエコノミー課	市内のタクシー事業者、森林組合等と不法投棄通報の協定を締結しており、本年度も同協定を引き続き運用した。 ごみ分別アプリからの通報も新しく導入した。	① ④	B	市民や事業者からの通報により、市内の不法投棄事業の早期是正を図ることができた。	苦情・相談 処理件数 94件	苦情・相談 処理件数 80件	苦情・相談 処理件数 83件
	集団資源回収事業	サーキュラーエコノミー課	集団資源回収登録団体に対し、回収した資源物の量に応じた交付金を交付(323件)	②⑤	B	新規団体の登録もあり、ごみの減量化及び資源化に対する意識の向上が図られた。	登録団体数 123団体	登録団体数 125団体	登録団体数 116団体
	那須地域環境対策連絡協議会との連携	サーキュラーエコノミー課	同協議会の総会への出席等	⑤	B	同協議会との環境問題に関する情報共有、意見交換を図ることができた。	活動の支援 実施	活動の支援 充実	活動の支援 充実
	自主防犯活動支援事業	交通防犯課	市内で自主的に防犯パトロール等を行い、犯罪を未然に防ぐための活動を実践する団体に対し、防犯活動に要する経費への一部補助を行う。	②⑤	B	昨年度よりも地域防犯活動支援補助金の交付団体数が増加し、地域の防犯意識が高まりつつある。 昨年度よりも犯罪認知件数が増加しており、目標値を大きく上回ってしまったが、全国的に犯罪認知件数は増加傾向にある。	刑法犯認知件数 454件	刑法犯認知件数 420件	刑法犯認知件数 806件
	窓口用封筒の作成及びオリジナル届書・窓口用冊子の作成	市民課	事業者と協定(協定期間3年)を締結し、事業者が封筒を作成・提供	④	B	・ゼロ予算で封筒を市民に提供でき、市をPRすることができた。 ・事業者として自治体の封筒作成業務における広告事業請け負うことで、企業イメージの向上を図ることができる。	継続的な封筒作成 実施	継続的な封筒作成 充実	継続的な冊子作成 実施

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	オリジナル出生届・婚姻届け・「よくある質問Q&A BOOK」の作成	市民課	オリジナル出生届・婚姻届及び冊子「よくある質問Q&A BOOK」を作成・提供	④	B	・ゼロ予算でオリジナル届出書及び冊子を市民に提供でき、市をPRすることができた。 ・オリジナル届出書等を事業者と協働発行することにより、住民サービスの向上及び地域社会への貢献を図ることができた。 ・婚姻届の記入例などを掲載した「よくある質問Q&A BOOK」は、保存性が高く何度も読み返されるため、広告やロゴが長期間ユーザーの目に留まる。	継続的な冊子作成 実施	継続的な冊子作成 充実	継続的な冊子作成 実施
	環境連絡会による施策の実施	ネイチャーボジティブ課	環境連絡会の委員を構成員とする環境基本計画市民懇談会を開催し、R6～R7で実施する第2期那須塩原市環境基本計画の改定について意見聴取等を行った。(R7.8月及びR7.11月)	②③④⑤⑦	B	環境に関する各界各層との協議の場ではあるが、これまでは計画の進捗報告など定例的な内容に終始することが多く、また、委員定数が多く(100人以内)効果的な意見交換が難しいなど、設置目的や所掌事務が形骸化していることから、今年度をもって組織の見直しを実施し、令和8年度から新たな体制とした(委員20人以内にするなど)。	新組織での運営実施	新組織での効果的な運営 実施	新組織での効果的な運営 実施
	地域自立支援協議会との連携	社会福祉課	・協議会(全体会)開催 2回 ・相談支援部会開催 15回 (人材育成グループ10回、精神保健福祉グループ3回を含む。) ・事業所部会開催 6回 (就労グループ1回、子どもグループ3回を含む。) ※就労支援施設等による共同販売会 2回 (太陽・SUN・マルシェ 12事業所、明治の森道の駅 13事業所が実施) ・当事者部会開催 2回 ※フリースペースは5回実施(いきいきふれあいセンター) ※クリスマス会 1回(西那須野公民館) ・医療的ケアワーキンググループ開催 3回	②③④⑤⑥⑦	B	様々な機関・団体で構成される協議会全体会の開催をはじめ、専門部会の会議や各グループ活動等が活発に行われ、地域課題の抽出及びその解決策の検討を行うとともに、障害福祉施策の推進を図ることができた。	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 実施	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 充実	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 充実

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	精神障害者福祉啓発事業	社会福祉課	那須フロンティアフォーラムの開催 日時:令和7年11月15日(土) 9:30～12:30 場所:大正堂くろいそみるひいホール小ホール 内容:映画『風の波紋』上映会 参加者:96名	②	B	少子高齢化と人口減少が進み、地域とのつきあいが減っている現代社会の中で、人と人との繋がりを絶やさず、地域の繋がりを広げていくための地域の在り方を過疎化の進む豪雪地帯で暮らす人々が紡ぐ新しいかたちの繋がりを映したドキュメンタリー映画を通して考える機会を作ることができた。	啓発事業開催 開催	啓発事業開催 充実	啓発事業開催 充実
	敬老事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費補助金と運営支援を実施した。	①③④⑤	A	敬老事業を実施することで、地域住民の高齢者に対する敬老意識を高めることができた。	敬老事業主催団体数 129団体	敬老事業主催団体数 135団体	敬老事業主催団体数 143団体
	生きがいサロン推進事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費の補助と運営支援を実施した。令和6年度の補助金申請団体は57団体。※運営支援は全64団体に対し実施。令和7年度の新規開設は5団体。	②⑤	B	サロンの運営や活動を支援することにより、高齢者をはじめとする地域住民の自治について、参加意識を高めることができた。	支援団体数 61団体	支援団体数 67団体	支援団体数 64団体
	介護支援ボランティアポイント事業	高齢福祉課	高齢者の社会参加・介護予防の推進を目的として、高齢者が介護保険サービス施設や事業所で行うボランティア活動を支援した。R7年度開始時点で活動登録しているボランティアは75人。	①③④	C	新型コロナウイルス感染症の流行以降、ボランティア受入先施設の受入制限が続いたことから、ボランティア活動自体が停滞している。	ボランティア登録数 181人	ボランティア登録数 187人	ボランティア登録数 70人
	地域づくり型介護予防事業	高齢福祉課	「住民主体の介護予防のための通いの場」に保健師やリハビリ専門職等を派遣し、住民が主体的に運営する通いの場の立ち上げ及び継続支援を実施	①②③ ④⑤⑦	B	地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携した地域づくりを進めながら、通いの場の定着化を図ることができた。	介護予防の通いの場の数 46か所	介護予防の通いの場の数 65か所	介護予防の通いの場の数 60か所
	林道交通安全対策事業	農務畜産課	林道愛護団体が実施する草刈りなどの林道の保守活動に要する経費の一部を補助することにより、林道の安全な通行を確保します。	⑤	C	林道の安全確保はもとより地域の活性化に貢献できた。	支援団体数 5団体	支援団体数 5団体	支援団体数 3団体

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	道路愛護事業	保安全管理課	「道路ふれあい月間」や「道路愛護月間」等における道路清掃、道路沿いの草刈りや枝切り (参加者:204団体、のべ55,934名)	⑤	C	自主的な道路環境の整備及び美化活動が住みよい地域社会づくりに貢献している。	実施団体数 194団体	実施団体数 216団体	実施団体数 204団体
	河川愛護事業	保安全管理課	各地区の愛護会が美化活動を実施 (参加者:18団体、のべ696名)	⑤	C	自主的な愛護活動が河川環境の美化に貢献している。	河川愛護作業人数 912人	河川愛護作業人数 960人	河川愛護作業人数 696人
	開こん記念祭PR事業	生涯学習課	・開拓の史跡めぐり 4/13に実施。(29名参加) ・ボランティアによる出張授業 希望のあった市内小学校・義務教育学校へ、出張授業や物品の貸出しを行った。(2校) ・那須野が原の開拓と那須疏水について広報(4月号)に掲載。 ・那須野が原博物館の無料観覧を実施。 ・市HP及び「開こん記念祭紹介動画」の公開。	①②	C	那須塩原市にとって重要な開こんの歴史について、広報・HP・紹介動画によってPRをしている。 また、那須野が原博物館に無料観覧日を設けることで、手軽に歴史を学んでもらう機会を提供している。 開拓の史跡めぐりや出張授業については、歴史に詳しい「石ぐら会」に講師を依頼して実施している。	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 2校	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 10校	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 2校
	無形民俗文化財保護事業	生涯学習課	指定無形民俗文化財保存会15団体のうち7団体に30,000円の補助金を交付した。 未指定の無形民俗文化財保存会12団体のうち2団体に20,000円、1団体に70,000円、1団体に140,000円の補助金を交付した。	②⑤	C	補助金を交付することで無形民俗文化財の保存・活性化に繋がったが、担い手不足により規模を縮小したり、休止したりする団体がある。	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体
	創作劇「那須野の大地」	生涯学習課	劇団なすの「那須野の大地」 開催日:令和7年8月30日(土)夜公演、令和7年8月31日(日)昼公演 場所:三島ホール 内容:市民劇団「劇団なすの」による那須野が原の開拓を描いた創作劇	①②③	C	市民や子供たちが中心となり演劇を行うことで、幅広い世代に開拓の歴史を伝えることができた。	観覧者数 未実施	観覧者数 800人	観覧者数 619人
	子供会育成会支援事業	公民館	事務局を担っている旧黒磯の公民館において、育成会活動に必要な各種手続きの窓口として、円滑な活動に寄与した。	⑤	A	各地区子供育成会に対して必要な手続きを行うことができた。	評価の実施(年1回) 充実	評価の実施(年1回) 充実	評価の実施(年1回) 充実

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～17】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	公民館まつり	公民館	利用団体による成果の発表の機会であり、来場者については芸や文化に触れる機会となった。	①②⑤	B	公民館利用者数増に対してアプローチしていく必要がある。また、選挙等で予期せぬ理由により公民館まつりを開催できない場合の発表の場創出についても柔軟に対応する必要がある。	参加者数 未実施	参加者数 20,000人	参加者数 8,100人
	地域学校協働本部事業	公民館	全ての公民館において、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支えていくため、学校、地域、公民館の相互の連携・協働の下、各公民館に配置している社会教育指導員が中心となり様々な事業を展開できた。	①⑦	B	課題として、多くの参加者を募るため、情報提供や募集方法を効果的に行うことが必要である。	参加者数 13,533人	参加者数 26,000人	参加者数 17,579人
	スポーツ協会への支援	スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興、各種市民大会・教室等の開催、加盟団体相互の連携融和など、スポーツ協会の運営に要する経費の一部を補助し、その活動を支援した。	②	B	地域スポーツ団体(協会会員)が、市民に対する各種スポーツ事業・大会を実施し、市民がスポーツに親しみ、健康や交流の増進を図ることができた。	評価の実施 実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施
(3)「協働のまちづくり」推進体制の確立	市民活動センター利用者協議会への支援	市民協働推進課	市が主催する各種事業における連携促進のほか、協議会が主催するを情報交換の場を設けた。他団体が主催するイベントにも協議会として出展し活動をPRできた。	②	C	効果 会員の活動を紹介・発表し、互いの活動を知ることで、新たなつながりと協働の形を見出す機会となった。	協議会主催の事業 実施 未実施	協議会主催の事業 実施 実施	協議会主催の事業 実施 実施